



▲今年初めての企画“清流物部川春の味まつり”。

取り
だて

ゴリ料理など

〇〇味わう

〇物部川春の味まつり〇

“清流物部川春の味まつり”が市観光協会と市商工会主催で四月二十六日物部川河川敷で開かれ、取れたてのゴリ料理など春の味覚を楽しみました。

物部川は、土佐最古の稲作文明をはぐくみ、二期作を育てためぐみ豊かな川。春のゴリ漁、夏のアユ漁と、清流を彩る風景も季節によって変わる。そんな物部川の自然と風物を見直そうと、今回初めて開かれたもの。

参加者は市内、香美郡下などか



▲取れたてのゴリ料理

ら約百人。まず観光協会の吉村雅男会長が「物部川にかかわる新鮮な料理を用意したので、今日は十分に味わい心から楽しんでください」とあいさつ。小笠原市長の乾杯の音頭で開宴しました。

料理は、ゴリの玉子とじ、つくだ煮、今評判の黒潮カルゴの炊き込みご飯、旬のタケノコの煮物、酢あえと盛りだくさん。酒もすすみ、また商工会婦人部の踊りも行われ、華やかな雰囲気です。料理を味わいました。

一方、ゴリ漁の実演も行われ、ヨナキ貝と呼ばれる貝殻をロープに結び、ゴリを網の中に追い込む独特の漁法も披露され、参加者は物部川の自然と味を満喫していました。

市観光コンパニオンに

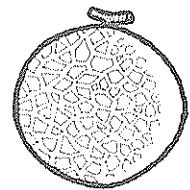
3人が決まる

市の観光事業のPRに務める「市観光コンパニオン」に三人の女性が決まり、五月八日空港会館で発表会が開かれました。

三人のコンパニオンは、川村美津枝さん（東崎・二十四歳）、沢村真紀さん（上末松・十九歳）、西村千鳥さん（廿枝・二十歳）。

発表会は、市観光協会総会の後開かれ、関係者ら三十人が出席。吉村会長が三人の女性を紹介し、「それぞれ、南国のコンパニオンとしてふさわしい、近代的な女性です。今後一年間、観光事業に協力よろしく願います」とあいさつ。

表彰状が手渡された後、市商工会、農協、各協賛企業から記念品が贈られ、最後に川



吉村会長が、一人一人に表彰状を手渡した

村美津枝さんが「観光南国市の発展に、三人で頑張ります」と決意を述べました。